

AMED-JST 合同募集説明会

AMED-CREST/PRIME

「根本的な老化メカニズムの理解と破綻に伴う疾患機序解明」 領域

さがけ

「加齢による生体変容の基盤的な理解」 領域

令和6年4月24日



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

戦略目標
研究開発目標

老化に伴う生体ロバストネスの変容と 加齢性疾患の制御に係る機序等の解明

健康寿命延伸の実現に向けた取組を加速するために、これまで得られた老化メカニズム等に関する研究成果を発展させ、加齢性疾患等の制御に係る機序等の解明に貢献する。また、先進的な計測・解析技術等の最先端技術を活用し、老化の根本的な原理を探求することで、老化そのものの基盤原理のメカニズムに立脚した新たな老化研究を推進する。これらにより、新たなシーズ探索、加齢性疾患の予防、治療薬開発等にご貢献する。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

戦略目標
研究開発目標

老化に伴う生体ロバストネスの変容と 加齢性疾患の制御に係る機序等の解明

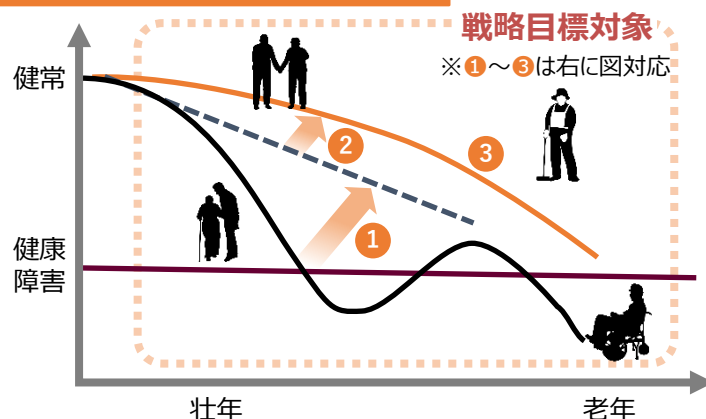
本目標では、**老化という生命現象の原理の解明に関する研究と老化メカニズムに立脚した加齢性疾患の予防や治療に資する研究**との密接な連携体制を構築するとともに、異分野との融合により、最先端の手法等も活用した新たな老化研究の推進を目指す。

研究開発領域のイメージ

現状・課題

- 我が国は世界で最も急速に高齢化が進み、**超高齢社会**に突入。健康寿命の延伸が喫緊の課題。
- 老化研究は生命科学・医学研究の**フロンティア**。**老化原理の理解**に加え、加齢性疾患の予防・治療のための機序解明など**応用研究の一体的な推進**が重要。
- 近年著しく進展している生命現象に関する最先端の**計測・解析技術**を老化研究に活用することで、研究が飛躍的に進展する可能性。

AMED-JSTの共通目標



① 加齢性疾患の予防・治療に関わる機序解明

研究例
・血管障害、代謝異常、サルコペニア・フレイル等

② 疾患に関わる老化制御機構の理解

研究例
・分子／細胞（集団）、臓器、個体の関連性を考慮
・老化抑制因子に作用する物質及び抗老化分子の同定

一体的に研究を展開
成果の相互共有

③ 最先端技術を活用した生体ロバストネス変容の理解

研究例
ゲノム・オミクス、イメージング技術等の最先端技術を活用した
・老化メカニズムの解明
・多様なモデル生物も活用した、個体間の多様性と共通メカニズムの解明

AMEDとJSTが共通の目標の下でそれぞれの領域を一体的に運用し、老化という**生命現象の原理の解明**に関する研究と**老化メカニズムに立脚した加齢性疾患の予防や治療**に資する研究が**密接に連携する老化研究の体制**を構築するとともに、異分野との融合により、**新たな老化研究**を推進。

期待される成果

- 老化という生命現象の理解や最先端技術の進展
- 加齢疾患の予防・治療につながる新たな創薬シーズの創出
- 医薬品とは異なるモダリティ（医療機器など）として、低コスト・簡易な予防医療の創出



未来像

エビデンスに基づく日常の生活習慣の改善や予防・診療医療により、

- 身体的、精神的に生き活きと暮らせる社会
- 健康寿命が延伸し、人生100年時代の実現



JSTとAMEDの領域体制

老化に伴う生体ロバストネスの変容と加齢性疾患の制御に係る機序等の解明



研究開発総括/研究領域統括 (PS)
望月 直樹



研究開発副総括 (PO)



深水 昭吉



安友 康二

AMED-CREST/PRIME

根本的な老化メカニズムの理解と破綻に伴う
疾患機序解明

研究総括 (PO)



三浦 正幸

さががけ

加齢による生体変容の
基盤的な理解

本研究開発領域の研究費・研究期間

提案タイプ	研究開発費	研究期間	課題数
AMED-CREST (ユニットタイプ)	総額3億円以下 (直接経費)	5年半以内	2～4件程度
PRIME (ソロタイプ)	総額4,000万円以下 (直接経費)	3年半以内	8～12件程度
JST さきがけ	総額4,000万円以下 (直接経費)	3年半以内	10件程度

研究開発総括（PS）の方針

老化は寿命とは切り離せず、寿命を全うし長期生存するために、生体には生理的なロバストネスと環境や外部刺激に適応する能力であるレジリエンス機構が備わっていると考えます。したがって老化では生体のロバストネスとレジリエンスの変容が生じている可能性が考えられます。これらの変容のメカニズムを新たな技術や解析手法を用いて調べることで老化メカニズムを解明し、寿命延伸に伴う加齢性疾患を如何に制御するかを旨とした研究を推進することが重要です。

生体を構成する分子・細胞・組織・臓器・個体の生命現象の根幹となる構成要素に関する計測・解析技術の進展は近年著しく、これらの研究手法は老化現象のメカニズムの解明を飛躍的に進展させる可能性があります。今後は、**これらの最先端技術を活用して老化の根本的な原理を探求し、その原理を踏まえた加齢性疾患の予防・治療のための機序を解明するために、基礎研究と予防や治療への応用展開を旨とした研究の一体的な研究体制を構築し、包括的に研究を推進していくことが期待されます。**

モデル生物・特徴的な老化現象を示す生物・ヒトを対象として、先端的解析技術を駆使した老化の根本的理解を進める研究を旨とします。このためには、老化研究者間の連携や技術の共有が必須となり、研究者間の活発な共同研究や試料の交換を促進し、生物間での普遍性原理の解明を果たせる領域になることを旨とします。

提案に際しての留意点（3領域共通）

- 研究仮説と到達目標を明確に示すこと。
- 各研究課題がどのように相乗効果を生み、研究提案全体の到達目標に寄与するかを明確に記載すること。
- 異分野連携を奨励する。
- 若手の研究者が主体的役割を担う提案を奨励する。
- 既存あるいは新規のネットワークを介して、先進的な研究を行っている国内外の研究者・機関との連携を奨励する。
- 基礎生命科学者、工学者、情報科学者、臨床医、人文社会系研究者との連携を奨励する。

根本的な老化メカニズムの理解と破綻に伴う 疾患機序解明

研究開発総括（PS）：

望月 直樹（国立循環器病研究センター研究所・研究所長）

研究開発副総括（PO）：

深水 昭吉（筑波大学生存ダイナミクス研究センター・センター長）

安友 康二（徳島大学 大学院医歯薬学研究部・教授）



公募要領 P.16

根本的な老化メカニズムの理解と破綻に伴う 疾患機序解明



文部科学省

研究開発目標

- 老化に伴う生体ロバストネスの変容と加齢性疾患の制御に係る
- 機序等の解明

達成目標

本戦略目標では、老化という生命現象の原理の解明に関する研究と老化メカニズムに立脚した加齢性疾患の予防や治療に資する研究との密接な連携体制を構築するとともに、異分野との融合により、最先端の手法等も活用した新たな老化研究の推進を目指す。具体的には、以下の3つの達成を目指す。

- (1) 加齢性疾患の発生・予防・治療に関わる機序解明
- (2) 疾患に関わる生体ロバストネスの老化制御機構の統合的理解
- (3) 最先端技術を活用した生体ロバストネスの老化変容の基盤的な理解

最先端技術を活用し老化の根本的な原理を探求し、その原理を踏まえた加齢性疾患の予防・治療のための機序を解明するために、基礎研究と予防や治療への応用展開を目指した研究の一体的な研究体制を構築し、包括的に研究を推進していくことが期待される。



モデル生物等を活用して、遺伝学的、生物学的、また環境要因等の物理学的な観点から、多角的に加齢が及ぼす分子/細胞（集団）、臓器、個体の変化を捉えることで、老化原因を突き止め、多様かつ複雑な連関の機序解明、加齢に伴う老化の理解に立脚した加齢性疾患のメカニズムの解明と老化抑制・制御機構の解明や老化制御法の開発を目指す。

- 生体のロバストネスやレジリエンスの老化による変化の原理・メカニズムに基づき、新たな概念、着想による病態の解明に資する研究を推進
- 老化制御機構の統合的理解に基づく老化指標、老化制御に係る因子の発見、新たなシーズの創出、加齢性疾患の予防、治療に向けたブレークスルー等の創出
- 異分野の多角的知見や技術を融合、連携により、老化研究の統合的理解を深め、世界に先駆けて独創的な研究開発に取り組む

本研究開発領域は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）と国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が、共通の研究開発目標「老化に伴う生体ロバストネスの変容と加齢性疾患の制御に係る機序等の解明」のもと、3つのプログラム（AMEDにおけるAMED-CREST、PRIME、JSTにおける さきがけ）を同時に立ち上げ、互いに連携しながら研究を進めます。

募集・選考・領域運営に当たっての 研究開発総括・副総括の方針

- 本研究開発領域では、根本的な老化メカニズムを生物学的に解明することを目指し、その機序に介入する医学的なアプローチを開発することを目指します。
- 加齢による分子・細胞・組織・臓器・個体の機能障害や破綻の本質に迫るために、先端的解析技術（遺伝子、イメージング、オミクス解析）を駆使し、モデル生物の解析から応用研究まで発展可能な研究も含みます。
- 生体のある部位の機能障害が個体機能全体の破綻を誘導する全過程の統合的理解を老化と捉えています。
- 単なる一臓器の障害の原因解明や加齢性疾患の病態解明に留まる研究ではなく、老化の本質に挑む研究により根本的な機構の破綻や加齢による変化が疾患発症に至ると考え、疾患の予防・治療に向けた新たな概念、着想による病態の解明に資する研究提案を募集します。
- 領域内では、研究者が相互の技術指導や試料の交換や情報共有を促進し共同研究が立ち上がるような活気ある領域を目指します。

本研究開発領域の研究費・研究期間

提案タイプ	研究開発費	研究期間	課題数
AMED-CREST (ユニットタイプ)	総額 3 億円以下 (直接経費)	5 年半以内	2 ～ 4 件程度

採択方針

- (1) 加齢による分子・細胞・組織・臓器・個体の機能障害や破綻の本質に迫るために、先端的解析技術（遺伝子、イメージング、オミクス解析）を駆使し、モデル生物の解析から応用研究まで発展可能な研究提案
- (2) 老化の本質に挑む研究により根本的な機構の破綻や変容が疾患発症に至ると考え、疾患の予防・治療に向けた新たな概念、着想による病態の解明に資する研究提案

【AMED-CREST】

・加齢に伴う生体のロバストネスやレジリエンスの破綻のメカニズム、加齢に伴う老化変容に立脚した病態や疾患に関わる制御機構、加齢性疾患の発生・予防・治療に資する機序等を解明するため、**独創的な切口や異分野融合による革新的な研究提案を募集します。広範な分野に関わる老化研究を統合的に理解し、加速的に推進するため、イメージング等の先端的な計測技術、データベースを活用するオミクス解析の展開や、バイオリソース等を駆使した研究開発提案も歓迎します。**分子生物学、生化学、細胞生物学、神経科学、免疫学、再生医学、臨床医学、情報科学、システムバイオロジー、合成生物学をはじめとする、多様な研究分野を融合するなど、国内外の研究機関・製薬企業等との連携等を糾合した研究ユニット編成も望めます。

・老化マウス等の標準的な実験動物を経時的に研究開発課題へ安定に配布する支援機能課題も募集します。

【PRIME】

老化進展機構や生体が備える老化抑制機構などに関する分子レベルでの解明とその医療応用に向けて、新たな突破口を拓く挑戦的で独創的な課題を広く募集します。また、老化を検出・制御するための革新的な基盤技術開発も募集対象とします。領域内外の他の研究グループ、AMED-CRESTの研究ユニットやJSTさきがけに参画する研究者との交流を通じたネットワーク作りを積極的に行っていただくことを要望します。

研究開発提案例

※公募要領抜粋

想定される研究開発提案の例を以下に示しますが、これらに限らない独創的な研究提案を期待しています。

- ・栄養・代謝、免疫・炎症、生物時計、幹細胞、オートファジー、アポトーシス、細胞競合、ミトコンドリアや遺伝情報等の老化に関連するシグナル分子の探索や加齢に伴い変容する老化進展・抑制の制御機構の解明
- ・分子/細胞（集団）、臓器、個体の関連ネットワーク機構の解明と疾患に関わる作用機序解明
- ・老化抑制・制御因子に作用する物質及び抗老化分子の同定と作用機序解明
- ・加齢に伴う老化変容メカニズムに立脚した病態や加齢性疾患に関わる生体ロバストネスやレジリエンスに関わる老化制御機構の解明
- ・血管障害、神経障害、代謝異常、脂質異常などの病態、サルコペニアやフレイルなどの加齢性疾患に老化が関与する機序解明
- ・加齢に伴う老化の理解、病態のメカニズムに立脚した新たなシーズ、老化指標マーカーの探索と予防・治療に資する機序解明

深水副総括（PO）からのメッセージ

- ・巻き戻せない時間が積み重なっていく**加齢が引き起こす老化を、新しい視点で捉え直すような提案**を期待します。
- ・老化の本質は、私たちを取り巻く生活環境からの多様な刺激と、それらを受容する細胞、組織、器官に潜んでいます。生体内外からの変化を統合するシステムを恒常化させるロバストネスや、破綻後にも回復させようとするレジリエンスが老化の進展・抑制に関わると考えられますが、その実体は不明な点が多く残されています。積極的に、**老化研究のフロンティアに取り組むような研究提案**が望まれます。
- ・モデル生物等から見出される老化の仕組みの解明に取り組む場合、新規制と重要性について、鍵となる予備的データを示していただき、具体的に説明してください。

深水副総括（PO）からのメッセージ

- ・多彩な技術によって各臓器の役割の研究が大きく進展し、複数臓器の連携の解明の機が熟しています。研究分野の融合などを念頭に、老化変容ネットワークの理解から、**疾患の予防・治療に向けた新たな概念、着想による病態の解明に資する研究提案**を期待します。
- ・本領域は、**根本的な老化メカニズムを理解すること**を目指しているため、研究提案が本質的な解明に繋がる道筋について、多様な研究分野の審査員が把握できるよう、申請書の記載に工夫をお願いします。
- ・**AMED-CRESTユニット構成を活かすからこそ達成できる研究提案**を期待しています。

令和4年度採択課題

●AMED-CREST

研究代表者	研究開発課題名	キーワード
原 英二	腸内細菌と老化細胞のクロストークが引き起こす加齢に伴う恒常性破綻機構の解明とその制御	細胞老化、 腸内細菌叢、 がん、感染症
西村 栄美	幹細胞を中心とした皮膚レジリエンスの加齢性変容と 臓器間フレイル 関連機構の解明	表皮幹細胞、 幹細胞老化、臓器連関、 自己免疫（疾患）
井垣 達吏	腸を起点とした全身性エイジングネットワークの解明と制御	腸、臓器連関、 老化責任細胞
水谷 清人	神経細胞とグリア細胞の老化制御機構の解明とそのアルツハイマー型 認知症の診断・治療法の開発への応用	神経細胞老化、 グリア細胞老化、 アルツハイマー認知症

●AMED-CREST 支援課題

研究代表者	研究開発課題名	キーワード
南 康博	老化研究支援・推進に関する研究開発	解析支援

令和5年度採択課題

●AMED-CREST

研究代表者	研究開発課題名	キーワード
尾池 雄一	ミトコンドリア恒常性と細胞・臓器・個体老化の連関解明	ミトコンドリア、 恒常性維持、 臓器連関
松井 秀彰	老化における細胞外廃棄の生理学、およびその破綻による加齢関連疾患の病態生理学	脳、神経、免疫 代謝・栄養
佐々木 雄彦	加齢に伴うホスホイノシタイドの変容と老化・疾病の本態解明	脂質、代謝酵素、 骨・運動機能
福原 茂朋	加齢に伴う血管の臓器多様性喪失による個体老化機構	血管老化、 臓器多様性、 エピゲノム
高橋 智	骨格筋の質的变化を中核とした抗老化方法の開発	骨格筋、 幹細胞、 フレイル・サルコペニア

本研究開発領域の研究費・研究期間

提案タイプ	研究開発費	研究期間	課題数
PRIME (ソロタイプ)	総額4,000万円以下 (直接経費)	3年半以内	8～12件程度

採択方針

- (1) 加齢による分子・細胞・組織・臓器・個体の機能障害や破綻の本質に迫るために、先端的解析技術（遺伝子、イメージング、オミクス解析）を駆使し、モデル生物の解析から応用研究まで発展可能な研究提案
- (2) 老化の本質に挑む研究により根本的な機構の破綻や変容が疾患発症に至ると考え、疾患の予防・治療に向けた新たな概念、着想による病態の解明に資する研究提案

【AMED-CREST】

・加齢に伴う生体のロバストネスやレジリエンスの破綻のメカニズム、加齢に伴う老化変容に立脚した病態や疾患に関わる制御機構、加齢性疾患の発生・予防・治療に資する機序等を解明するため、**独創的な切口や異分野融合による革新的な研究提案を募集します。**広範な分野に関わる老化研究を統合的に理解し、加速的に推進するため、イメージング等の先端的な計測技術、データベースを活用するオミクス解析の展開や、バイオリソース等を駆使した研究開発提案も歓迎します。分子生物学、生化学、細胞生物学、神経科学、免疫学、再生医学、臨床医学、情報科学、システムバイオロジー、合成生物学をはじめとする、多様な研究分野を融合するなど、国内外の研究機関・製薬企業等との連携等を糾合した研究ユニット編成も望めます。

・老化マウス等の標準的な実験動物を経時的に研究開発課題へ安定に配布する支援機能課題も募集します。

【PRIME】

老化進展機構や生体が備える老化抑制機構などに関する分子レベルでの解明とその医療応用に向けて、**新たな突破口を拓く挑戦的で独創的な課題を広く募集します。**また、老化を検出・制御するための革新的な基盤技術開発も募集対象とします。領域内外の他の研究グループ、AMED-CRESTの研究ユニットやJSTさきがけに参画する研究者との交流を通じたネットワーク作りを積極的に行っていただくことを要望します。

採択方針

研究者個人の専門分野を中心に提案を行っていただくPRIMEでは、AMED-CRESTで示した研究開発分野において、特に独創性の高い研究を期待しています。老化進展機構や生体が備える老化抑制機構などに関する分子レベルでの解明とその医療応用に向けて、新たな突破口を拓く挑戦的で独創的な課題を広く募集します。また、老化を検出・制御するための革新的な基盤技術開発も募集対象とします。研究実施過程においては応募者本人の専門分野にこだわることなく、将来的な研究の展開を見据え、領域内外の他の研究グループ、特にAMED-CRESTの研究ユニット、JSTさきがけ「加齢による生体変容の基盤的な理解」領域の研究者との交流を通じたネットワーク作りを積極的に行っていただきたいと思います。

研究者個人での提案という本タイプの趣旨を鑑み、独創的な研究計画を持ちながらも、資金や人脈が不十分であるために挑戦的な研究ができないことの多い若手研究者を優先します。また、提案していただく研究が、老化研究領域や他の研究領域において、将来的にどれくらい拡がりがある研究へ飛躍する可能性があるかを重視します。現時点で老化研究に携わっていない方からも、本研究領域の目的に合致する新たなコンセプトや解析手法を提示するご提案を期待します。

令和4年度採択課題

研究代表者	研究開発課題名	キーワード
沖 真弥	加齢変容細胞のデコーディング技術の開発と応用	ゲノム・エピゲノム
酒井 真志人	肝臓マクロファージの加齢性変容機構とその病態生理学意義の解明	免疫
佐田 亜衣子	糖鎖異常に起因する幹細胞老化プロセスの理解と制御	幹細胞
関谷 元博	代謝産物センサー分子を標的にした老化現象の解明と医療応用	代謝・栄養
高橋 重成	新規腫瘍内H2O2可視化技術から迫る酸化ストレスが発がんに及ぼす影響の本質的理解	がん
殿城 亜矢子	加齢によるプロテオスタシス破綻に伴う記憶低下機構の解明	脳・神経
中川 崇	NAD代謝の破綻による老化メカニズムの解明	代謝・栄養
服部 一輝	老化腸幹細胞ニッチを大量・並列に再現し、ニッチ内コミュニケーションを解く	幹細胞
森 雅樹	生体機能を最適化する機構としての老化の再定義	ゲノム・エピゲノム
安原 崇哲	配偶子に染色体転座を発生させる生殖細胞老化の本態	生殖・発生

令和5年度採択課題

研究代表者	研究開発課題名	キーワード
上田 和孝	臓器周囲脂肪組織の加齢変容がもたらす炎症慢性化機構	循環器・免疫
桑子 賢一郎	核を起点とした新たな神経活動制御とその破綻による脳機能老化	脳・神経
清水 達太	個体老化における視床下部タニサイトのネクチン-1の機能と作用機構	脳・神経
田所 優子	造血幹細胞エイジング制御機構の理解とその破綻による慢性炎症疾患誘導機構の解明	幹細胞・免疫
塚本 博丈	自己免疫応答を誘導する老化関連抗原発現細胞と、その病的変容機構の解明	免疫・がん
中嶋 洋行	脈管系物流の破綻に伴う全身老化過程の解明	循環器・臓器連関
仲矢 道雄	加齢関連慢性炎症疾患の悪化を担う筋線維芽細胞の細胞老化機構の解明とその治療応用	慢性炎症・骨格筋
柳田 圭介	脂質特殊性から迫る老化による脳血管機能低下のメカニズム	脂質・脳・血管
吉田 健一	正常細胞の単一細胞レベルオミックス解析による老化の生物学的機序の研究	がん・ゲノム・エピゲノム
渡辺 玲	Resident memory T細胞の可塑性低下に伴う免疫老化機構の解明	免疫・感覚器

安友副総括（PO）からのメッセージ

- ・ PRIMEでは、**PIとして独立前あるいは独立直後の研究者**からの積極的な応募を期待しています。
- ・ 本領域では老化制御の基本原則を解明する研究を基盤として、加齢性疾患の予防や治療に資する研究展開を目指しています。そのため、加齢性疾患に直接関係する研究提案の場合には、**疾患の単なる病態研究にとどまらず、老化の基本原則の解明に迫る研究提案**を期待しています。そして、**将来的に医療応用へつながることが期待できる研究提案が望まれます。**
- ・ PS/POが想定していない視点や分野からの研究提案や萌芽的な研究提案であったとしても、老化の本質に迫る独創的で将来性が高いと思われる課題であれば採択したいと考えています。ただし、その研究が老化の基本原則の解明とその後の医療応用への展開において、どのように貢献できるのかについて、鍵となる予備データを示しつつ**様々な研究分野の審査員が理解できるように申請書の記載において工夫**をお願いします。

先端技術を活用した加齢による 生体ロバストネスとレジリエンス変容の 基盤的な理解

- ・**生体・生命現象**の経時変容の理解
- ・**老化・寿命決定**に係る基盤原理の解明
 - 種をこえて共通する基盤原理
 - 個体差、性差、系統差など多様性
- ・**老化研究を加速する解析技術**
 - マルチオミクス解析による老化マーカー探索など
 - 1細胞解析技術による老化細胞の動態解明など
 - AI技術による老化予測システム開発など

**基礎原理の解明
解析技術の基盤・応用開発**

JST

加齢に伴う疾患や病態の 促進・制御機構の統合的理解

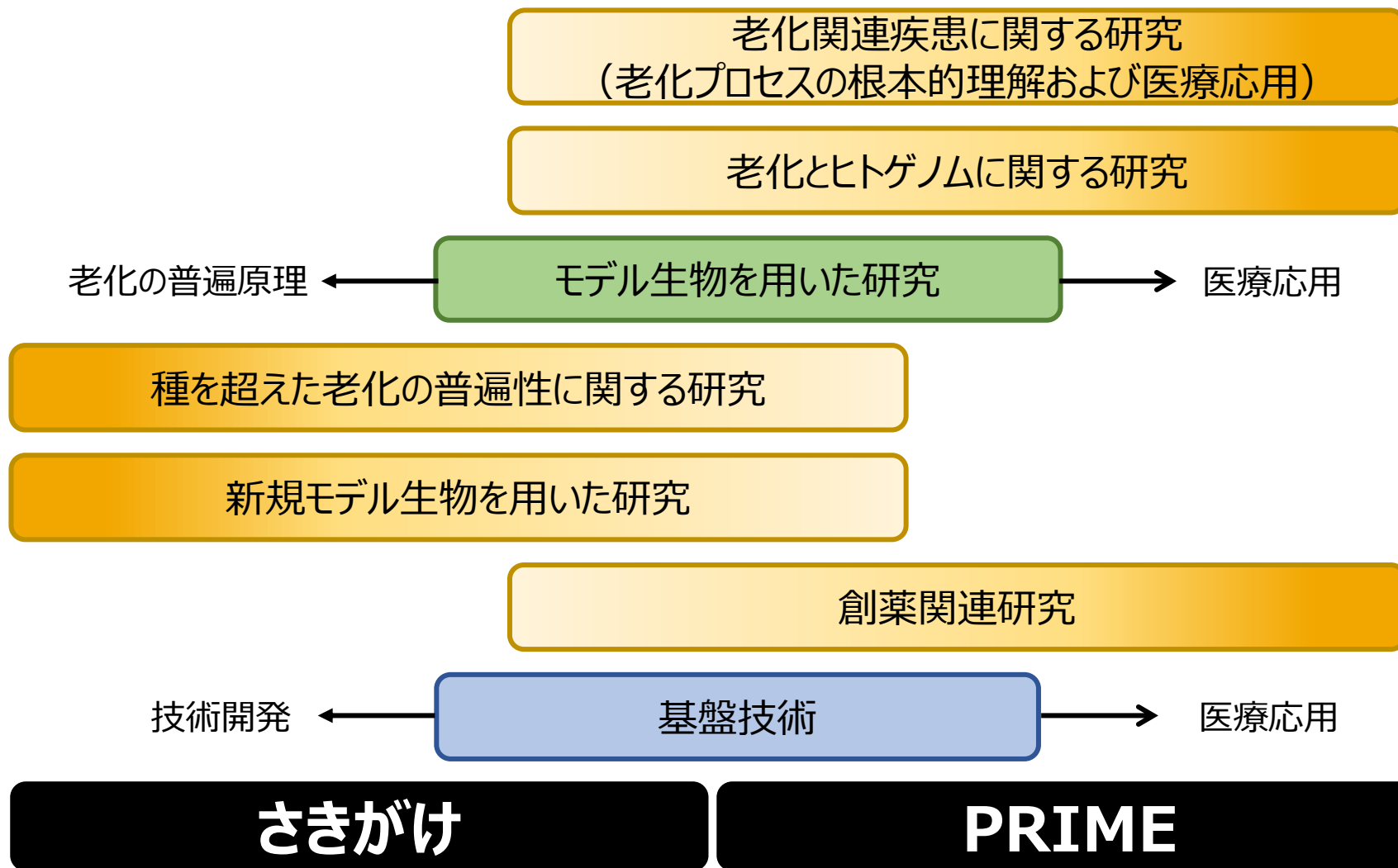
- ・**生理的老化から病的老化**に関わる老化変容の
統合的理解
- ・**疾患や病態に関わる老化制御機構**の解明、
老化制御法の開発

※生理的老化：加齢に伴い臓器や組織等の恒常性が破綻し、病的老化につながる変容
※病的老化：生理的老化の過程が加速し、疾患発症や病的状態につながってしまう変容

**健康・医療への出口を見据えた
基礎研究～応用研究**

AMED

「PRIME」と「さきがけ」の違いについての考え方



JSTとの重複申請について（変更点）

【さきがけ／PRIME重複応募説明書】 の提出について

- ・特例措置としてPRIME「老化」とさきがけ「加齢変容」の重複申請が認められていますが、AMED（PRIME）およびJST（さきがけ）に重複申請する理由と研究提案の違いを説明する資料として、**【さきがけ／PRIME重複応募説明書】の提出を必須**とします。
（A4 用紙 1 頁以内）
- ・AMED（PRIME）およびJST（さきがけ）の共通の様式となります。
（提出方法等の詳細は事務局説明をご確認ください。）
- ・AMED（PRIME）およびJST（さきがけ）に重複応募をしても、**【さきがけ／PRIME重複応募説明書】の提出がない場合は不受理**とします。

提案に際しての留意点（１）

- チームとして応募される場合には、研究開発代表者および研究開発分担者の各研究プロジェクトがどのように**相乗効果**を生み、研究提案全体の到達目標に寄与するのかを明確に記載してください。
- AMED-CRESTでは、革新的医療技術の開発計画自体が必ずしも研究内容の中に含まれている必要はありませんが、**医療分野における応用研究への道筋を示すエビデンスを創出**することを求めます。一方、PRIMEでは医療分野における応用研究への道筋を示すエビデンスを創出することを必ずしも求めません。
- 本事業においては**非臨床試験以降の開発フェーズは対象外**ですが、研究開発の進捗状況に応じて他事業等への導出を勧奨します。
- 革新的医療技術創出を目指すことから、**当該分野の臨床に携わる医学研究者の参画を推奨**します。

提案に際しての留意点（２）

- 目的を簡潔・具体的に書いてください。課題と解決策、独創性、実現可能性を明確に記載するようにしてください。
- 提案内容が一目瞭然で分かる図を記載してください。写真や図を適切にいれ、文字だけの提案書にならないように記載してください。
- 合理的かつ挑戦的な**異分野連携**を奨励します。
- 研究開発代表者および研究開発分担者の各研究プロジェクトがどのように相乗効果を生み、研究提案全体の到達目標に寄与するのかを明確に記載してください。
- 研究期間内に実現可能な研究計画を策定し、計画通り進まなかった場合の対応策についても具体的に記載してください。
- 若手の研究者が主体的役割を担う提案を奨励します。
- 既存あるいは新規のネットワークを介して、先進的な研究を行っている海外機関との連携を奨励します。

**生命医科学分野、疾患研究分野において、パラダイム
シフトを引き起こすような研究提案をお待ちしています。
奮ってご応募ください。**